

採用年度	平成 27 年度
お名前	八尾 史
派遣期間	平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
領域/分科/細目	人文学／哲学／中国哲学・印度哲学・仏教学
派遣国	カナダ
受入機関名	McMaster University
受入機関部局名	Department of Religious Studies
研究概要	わたしの研究課題は、インド仏教の聖典のひとつである『根本説一切有部律』についてのもので す。仏教教団の規則を集めた文献ですが、その中に経典、説話など多様な要素を含んでいるの が特徴です。サンスクリット語写本をチベット語訳、漢訳と対照しながら解読するというのが基本 的な作業です。
派遣前の準備につ いてのアドバイス	派遣先大学とのやりとりやビザの取得等、事務手続きはできるかぎり早めにすませるようにする のがよいと思います。カナダの場合就労許可証が必要なので、まず受入研究者の先生にお願い して、派遣先大学からポスドクとして採用する旨の詳細を記した契約書類を郵送してもらう必要が ありました。大学に雇用されるタイプのポスドクではないので、通常のケースと異なるということで 大学での事務手続きに時間がかかりました(ついでに、カナダの郵便は迅速とはいいがたく、日 本からの、あるいは日本への郵便が二週間以上かかることもあります)。就労許可申請書類には 学位取得証明書その他も必要になるので、これも早めに調べて手配しておいた方がいいと思い ます。都内の申請センターに提出したあと(オンライン申請の対象外でした)、許可が降りたとの 電子メール通知が来るまで二ヶ月強かかりました。
派遣中に問題にな りうることについ てのアドバイス	現地での銀行口座開設はできるだけ早めにした方がよいと思います。家賃などで小切手が必要 になる場合もあると思います。わたしは口座開設後、小切手が発行されるのに数週間かかり、大 家さんに事情を説明して待ってもらわなければなりませんでした。 日本の研究書や雑誌論文は、こちらでも大学図書館にあったり、北米の大学図書館間相互貸借 制度(たいへん便利です)を使えたりしてかなり利用できますが、どうしても手に入らないこともあ ります。ときどきは日本の大学にいる友人たちにコピーを送ってくれるようお願いしています。 納税手続(確定申告)はカナダでは 4 月が締切で、代行業者で手続するのが簡単で間違いがな いと思います。手数料は 100 ドルほどでした。
派遣先での生活の 様子	大学近くの民家の半地下貸部屋に住んでいます。おもに学生向けにこの種のアパートメント(玄 関は母屋とは別でバストイレキッチン付)があり、大学のウェブサイトの貸部屋案内コーナーで見 つけました。大学に自分の研究室を持たせていただいているので、研究は基本的にそこでしていま す。物価は高い方です。東アジア系のお店で日本の食材もある程度手に入るのですが、自炊は難しく ありません。大学まで自転車で 10 分程度で、スーパーも近くにあるので、自動車なしでも生活で きています(が、カナダでは大学の立地場所によっては自動車なしでは難しいと聞きます)。冬は 雪が積もるので不便になります。二月には-20℃まで下がることもあります。
海外特別研究員に 採用されて良かったこと	なんといっても二年間海外で研究に専念できるというのは本当に貴重なことで、いつもそれを 実感しています。海外特別研究員の場合、授業を担当する義務等がなく、研究に 100%の時間を使 えるのが非常にありがたい点だと思います。また私の場合は北米にいるおかげで、日本にいた 時よりも英語で自分の研究を発信しやすくなったと感じています。日本とは違った北米の教育シ ステムを見聞きするなどもたいへん勉強になります。